



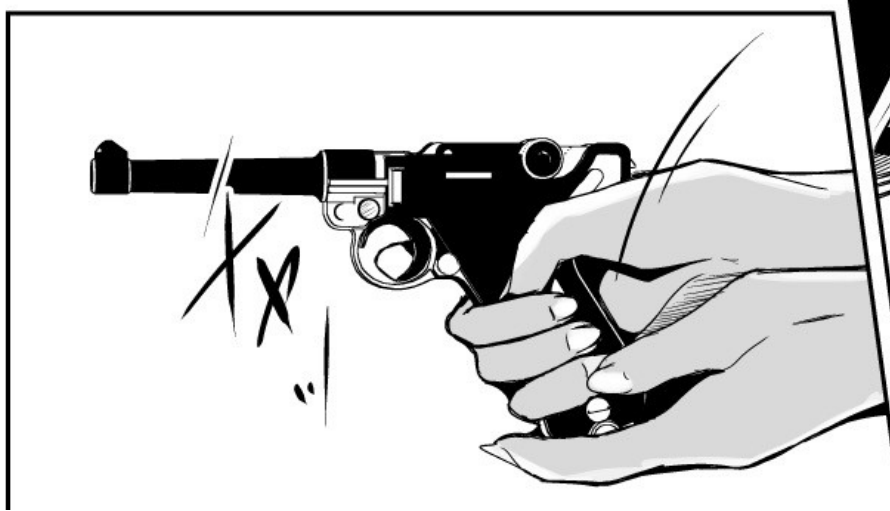
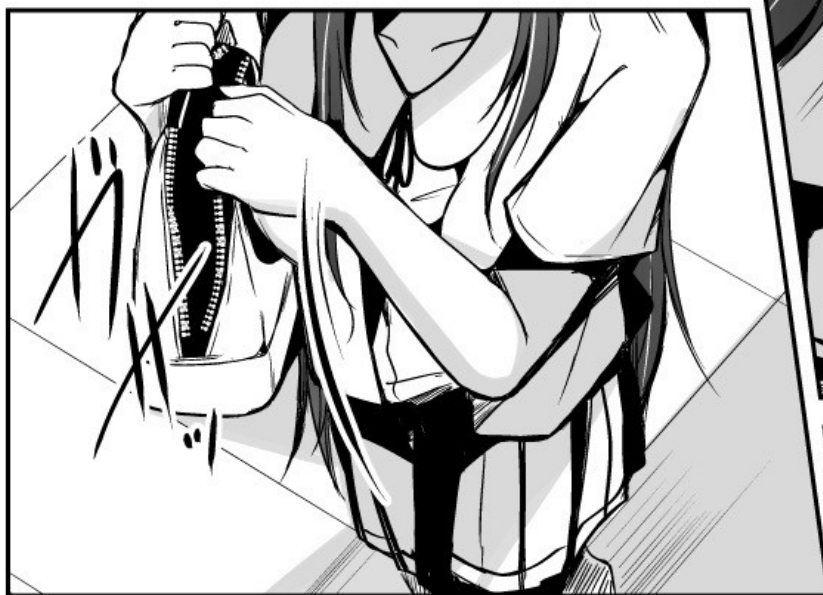
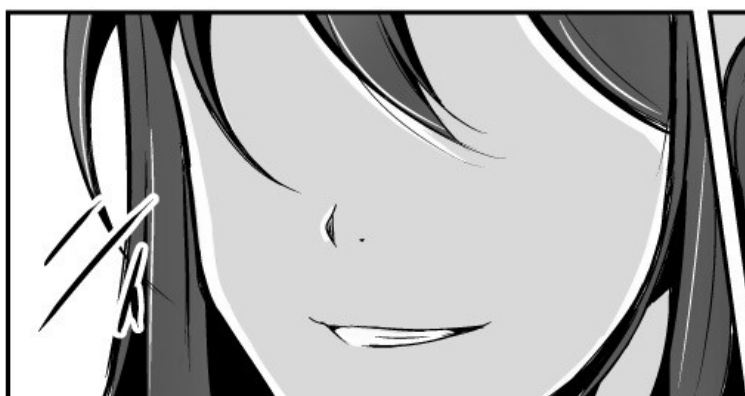
さて、
どうしたものか。

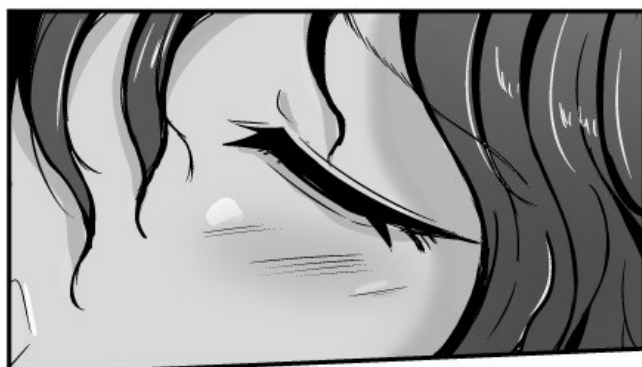
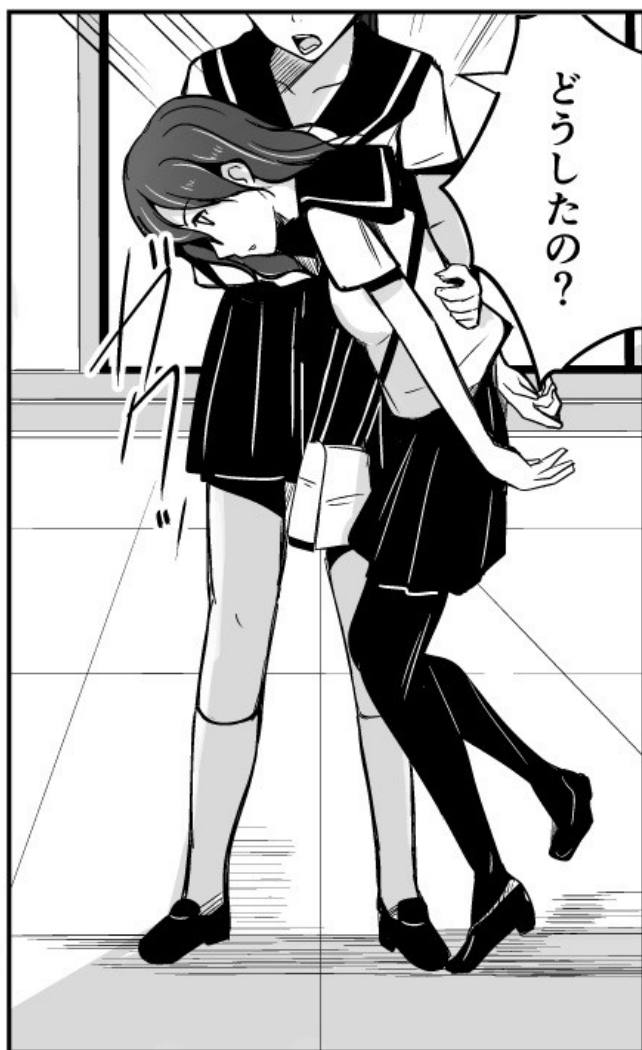


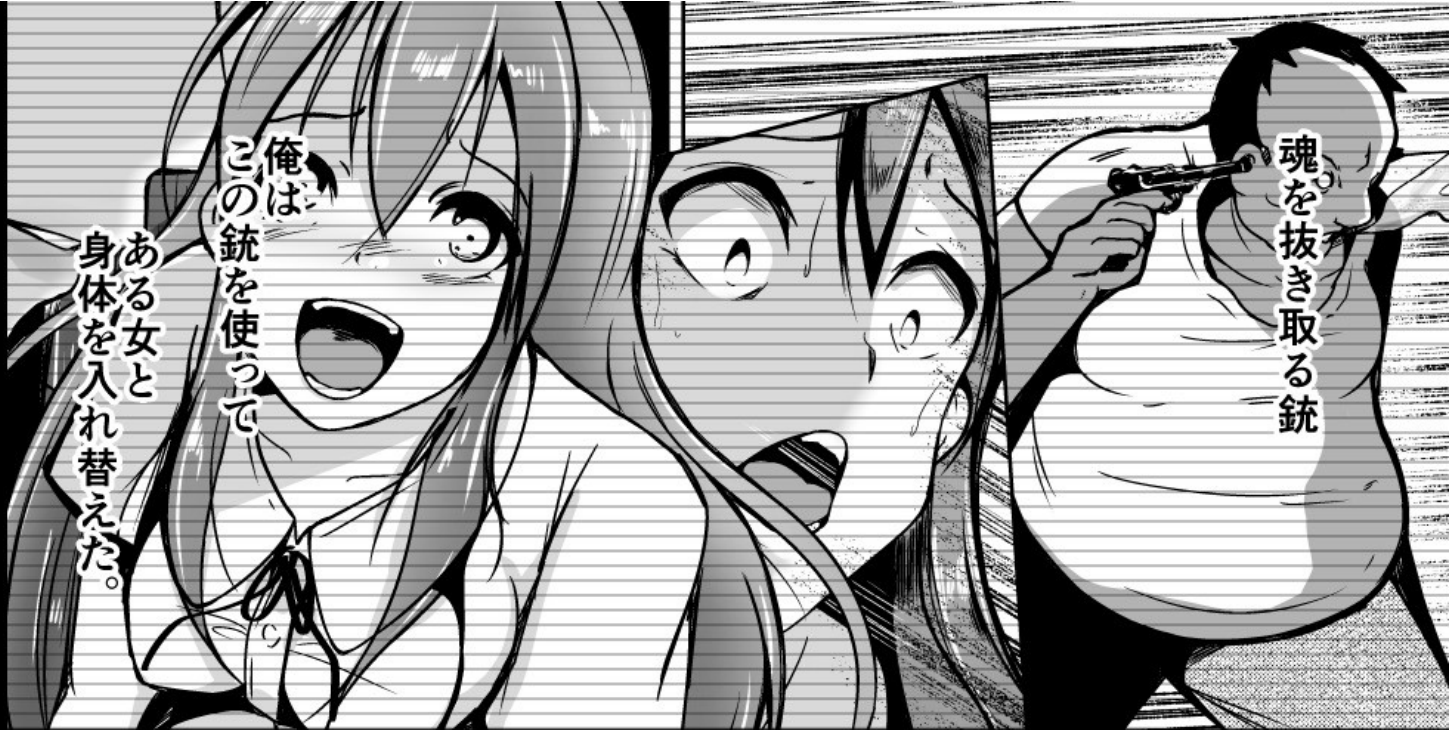
流石に
抵抗があるからな。



相手が欲しいと言っても、
いきなりで
野郎とするのは







魂を抜き取る銃

俺は
この銃を使うで

ある女と
身体を入れ替えた。



そして、
一通り女性の快感を楽しみ、

今また別の女と
入れ替わった。

ちよっとそこで
休んでもいい？

もちろんだよ。



実はこの銃には
もう一つ能力がある。

それは、
入れ替わった人間の記憶を
読み出せるというものだ。

もちろん相手は
俺の記憶は読みだせない。

そのように設計した。

HOTEL

だからわかる。

コイツがどういう
生い立ちで

どんな話し方を
するのか。

!!

え？
誰この人？

仕方な
ない子だ。

そしてこの女と
どんな関係なのか。

これは
どういう事？

私……
私は？

どこに？









あなたをもっと
感じたいの。

コイツになりきって
しまふのも
悪くないかもな。

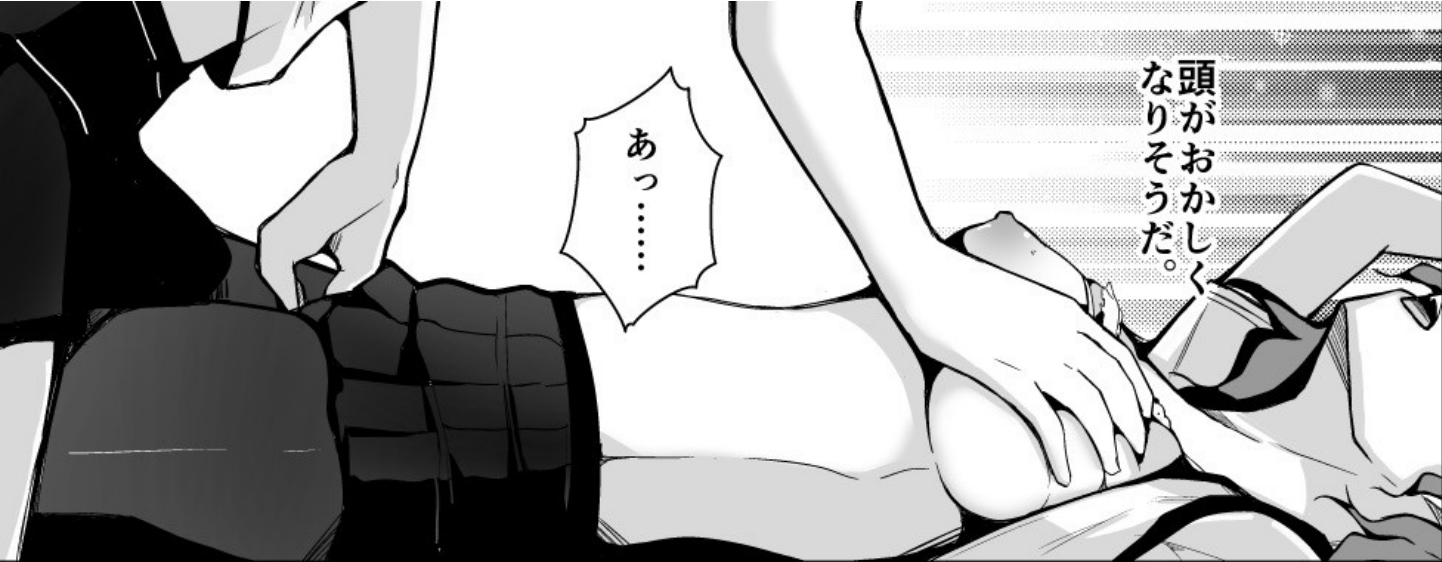
千鶴……。



その方が
女の快感を
より味わえるかもしれねえ。

わかったよ。
美奈。

女は心で
感じると言うし



頭がおかしく
なりそうだ。



色んな感情が
こみ上げてきて

んっ。



声が……

あ……
あんっ

はっ

漏れる。

本当にいつもより
感じてるんだね。

や、
言わないで。

恥ずかしい……。

カワイイね。
君は。

んは……っ
んっ！

ヤバイ！
想像以上だ。これは。

オナニーでも
相当なものだったが、

これは完全に異質！

感情が快感に
上乘せられ

それによって
更に快感が増していく

あっ！

んっ！

じわじわと
だが着実に

大きくなつていく
快感の波

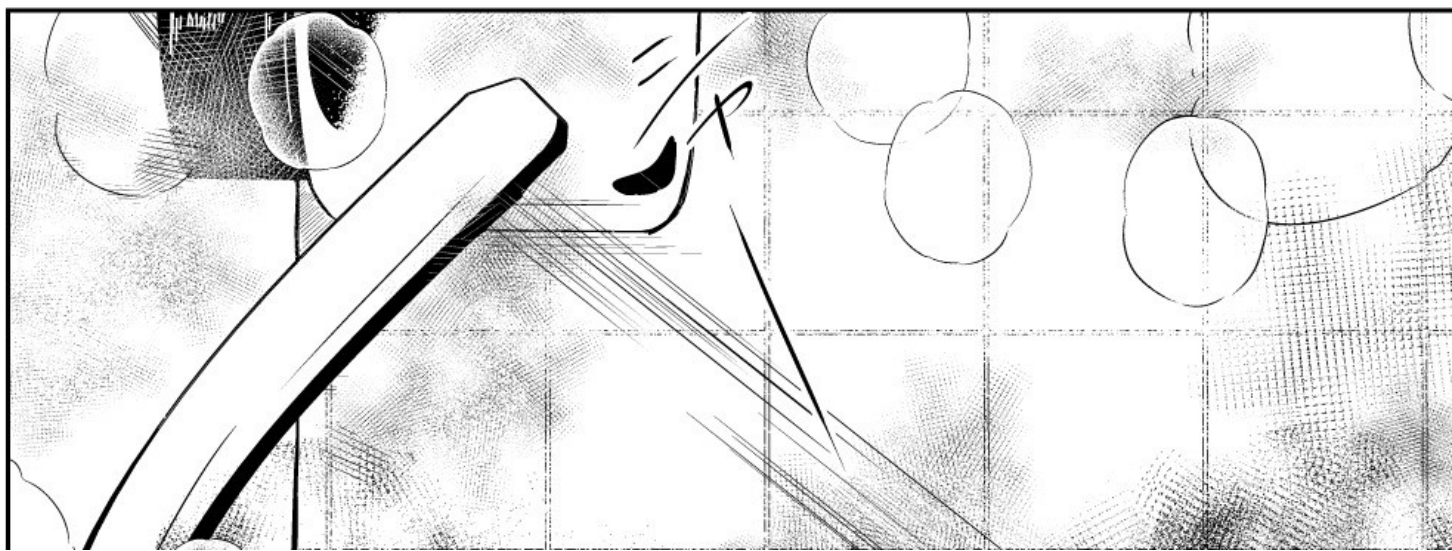
はう……

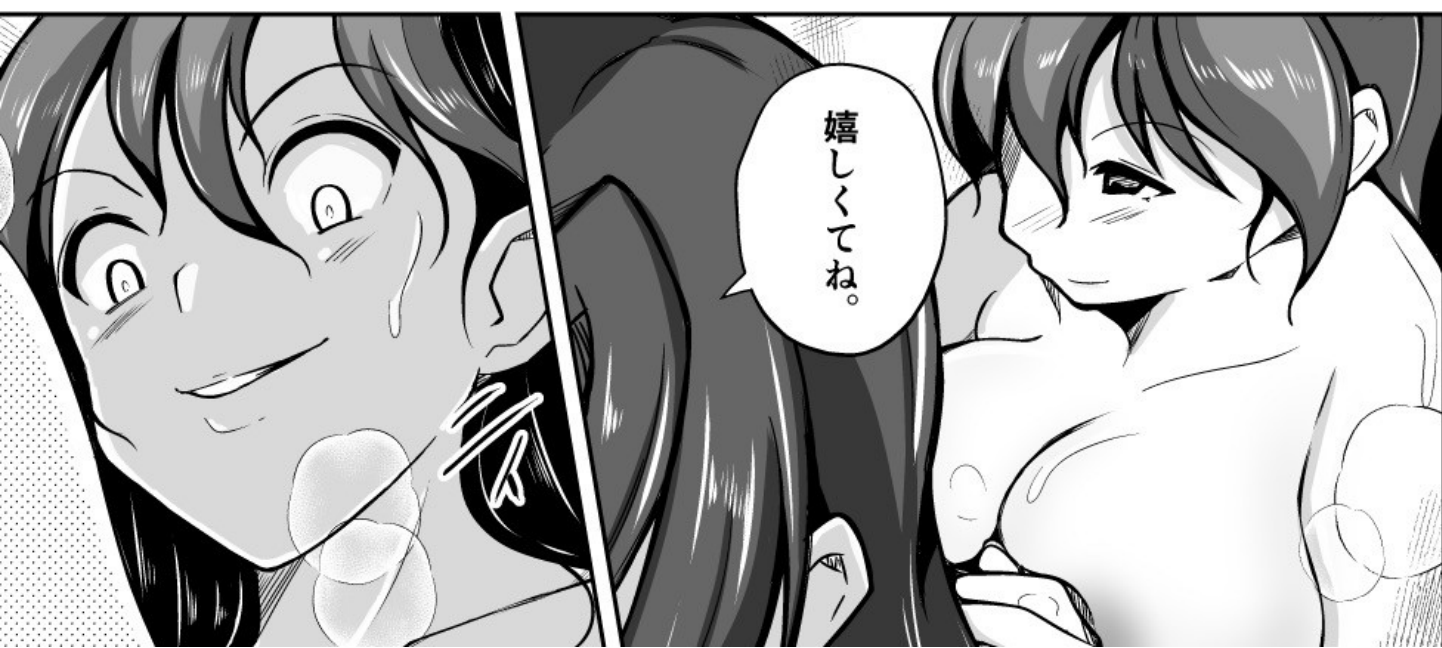
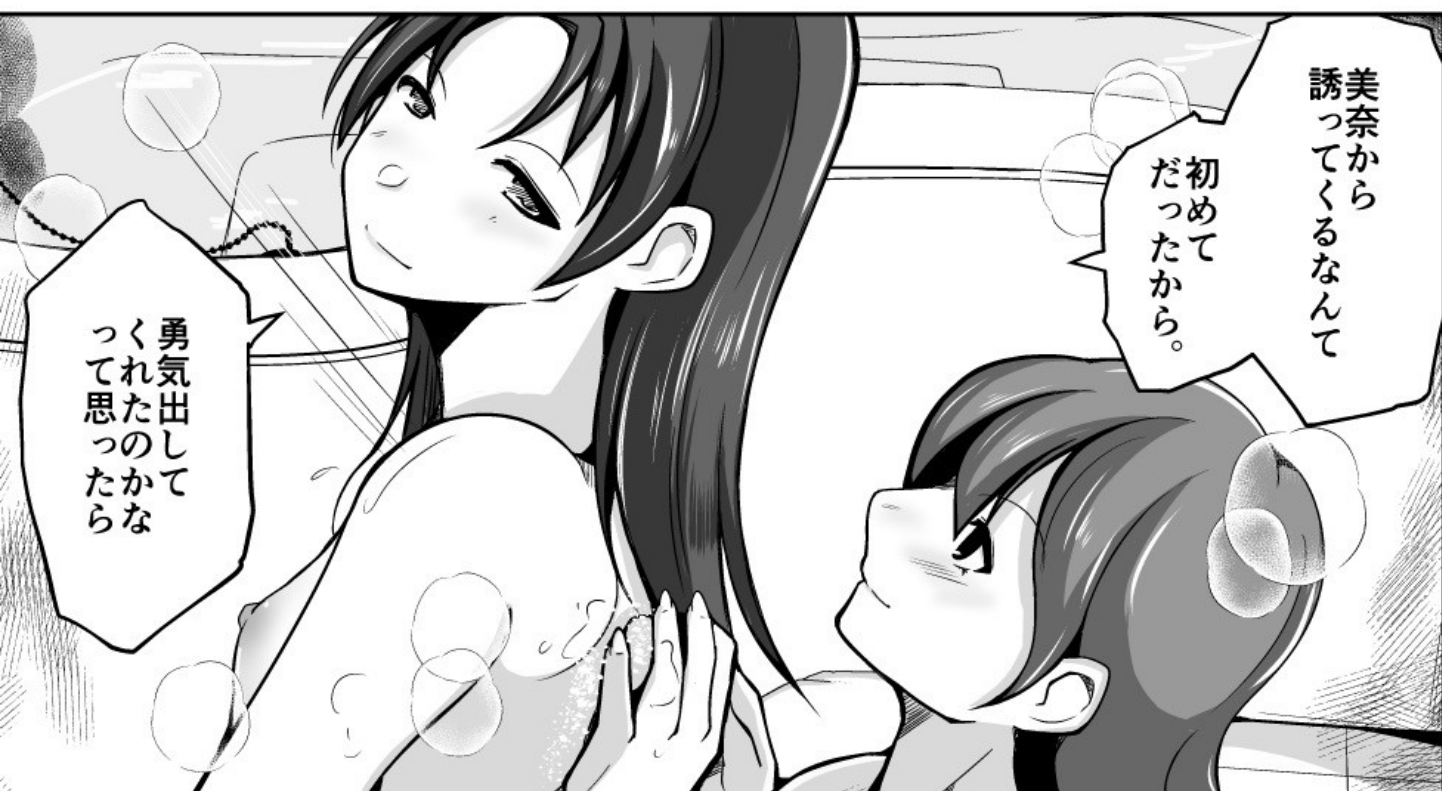
ちゅる

ちゅる











中身が男だという事に
全く気付かず

ちよつと
美奈……？

実に滑稽だ。



さっきから
何を……

とんなまなざしで



俺を
見つめてるんだからなあ。

だって……



さっきは千鶴に

リードされっぱなし
だったから

今度は
私が……



やられるのも
たまらねえが

千鶴を……

やはり男としては

やってみてえ
んだよねあ。

ハァ……



美奈……？

——
おっと。

いけねえ。



少し気を
緩めるとコレだ。



ん
ん



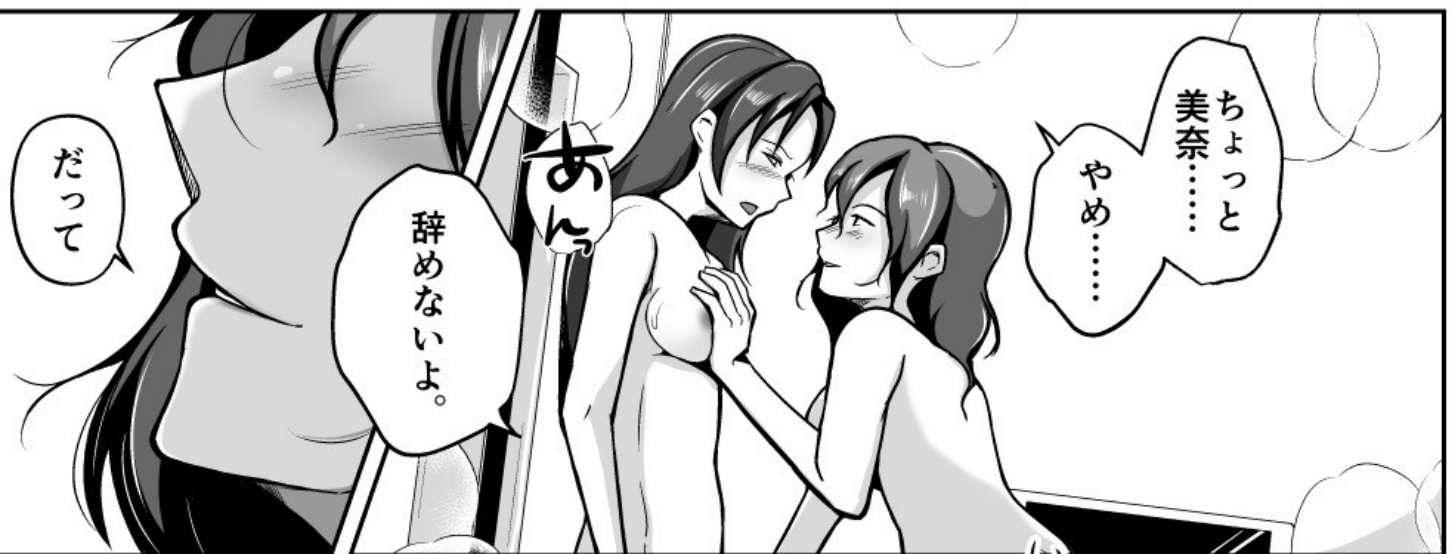
こんな声で
喘ぐんだね。

千鶴……
カワイイ。



あっ……

はあ。



辞めないよ。

あん

ちよつと
美奈……

やめ……

だって



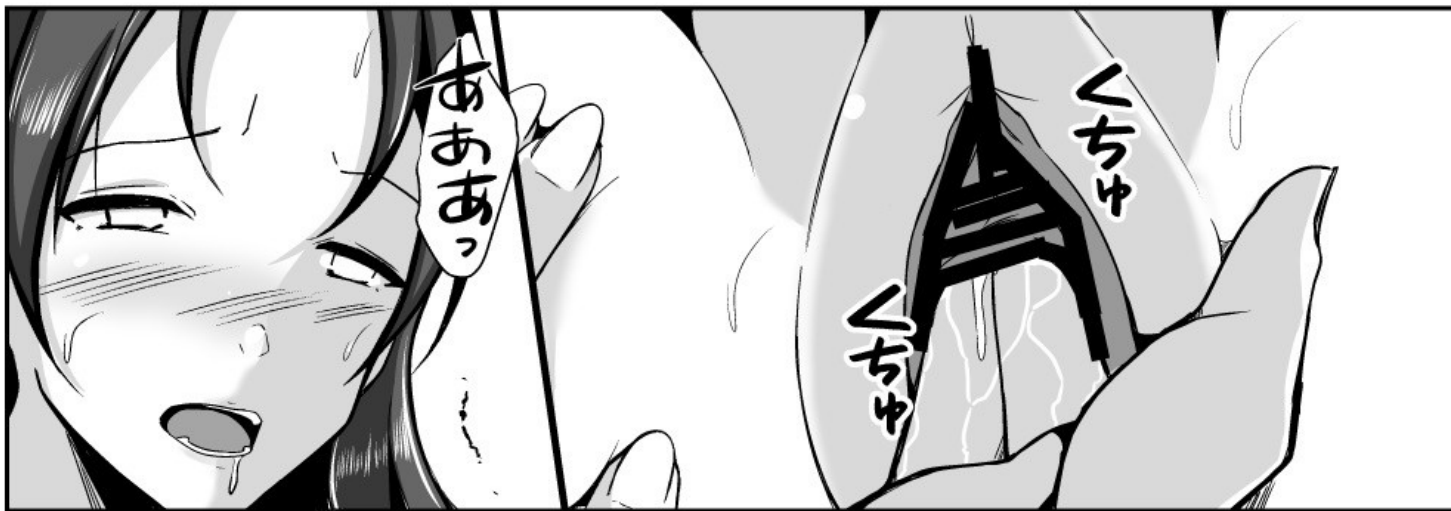
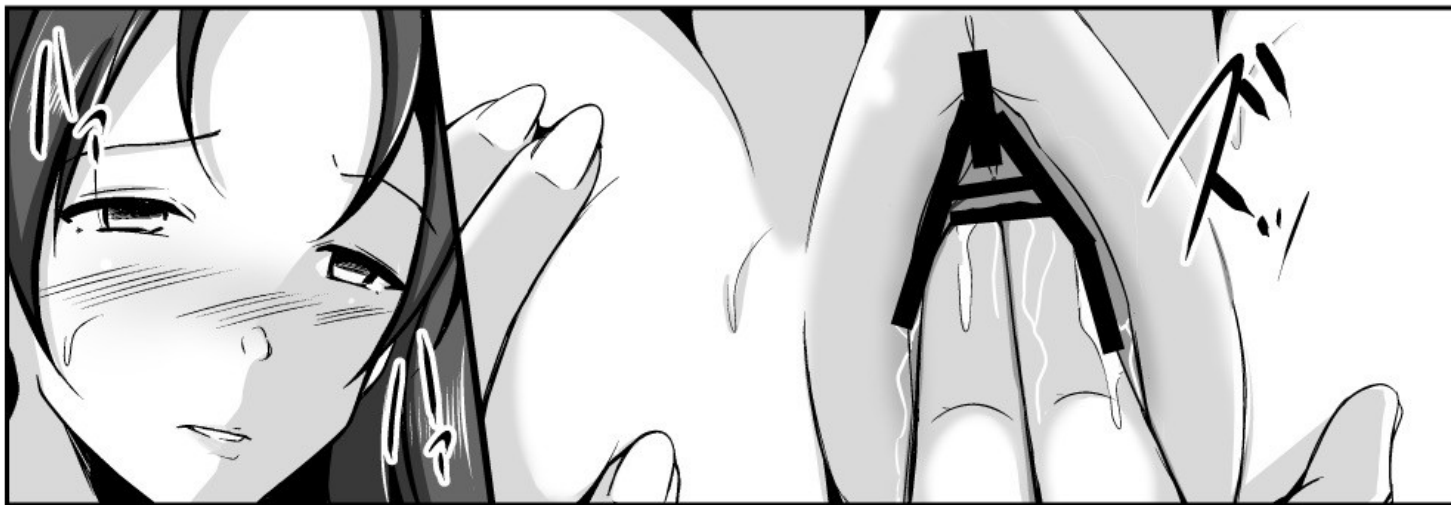
千鶴ってば

凄く気持ち
よさそうだもん。

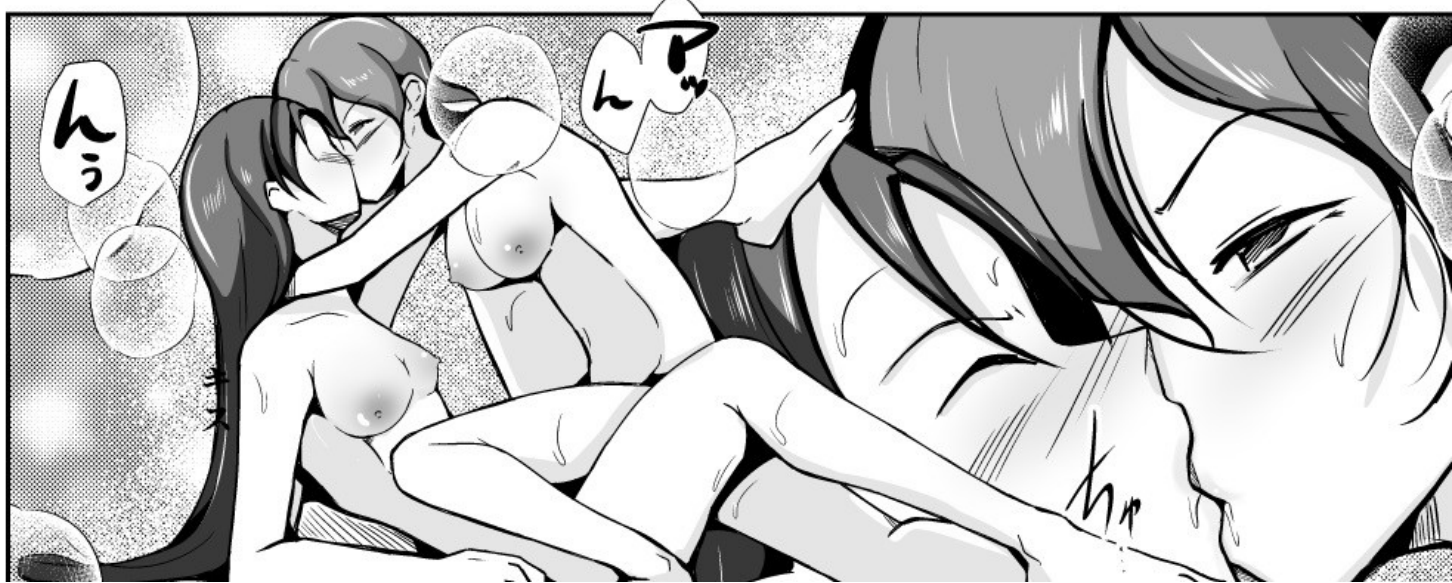
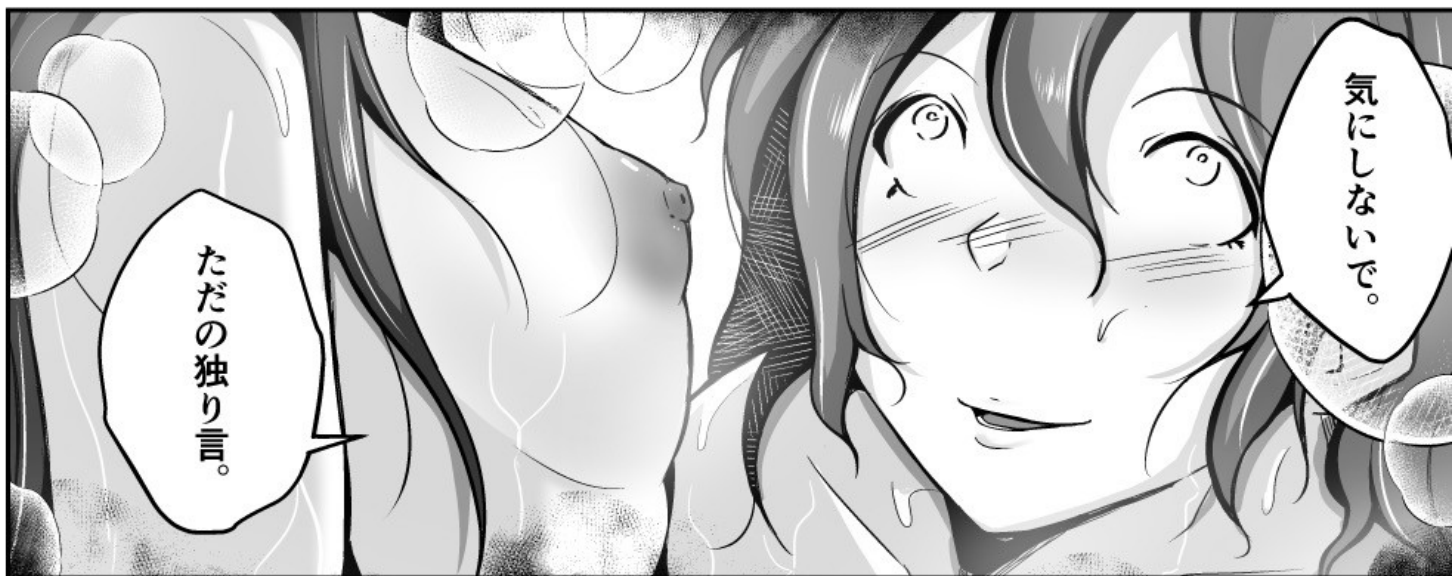
あああ

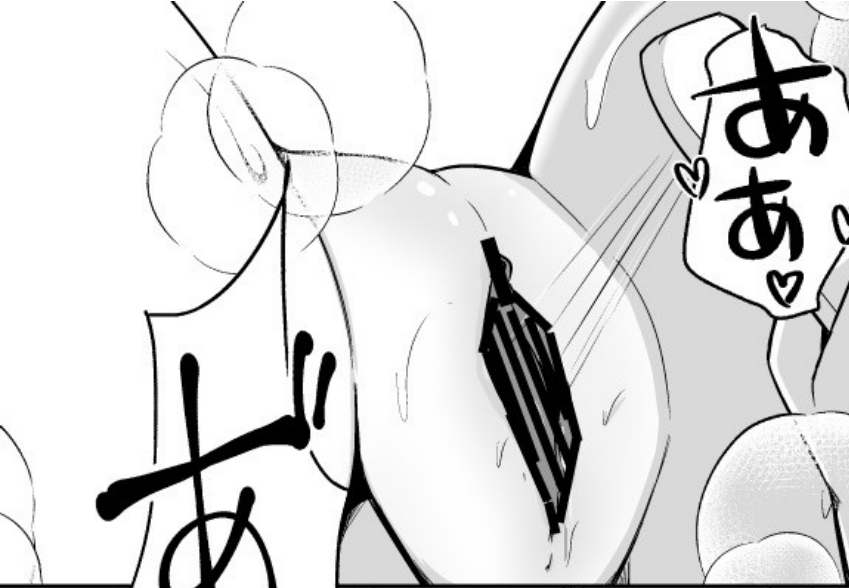
ん

ん















やはり無いか。

まあ。

俺以外には使えないし、

傍目に見れば
ただのモデルガンだからな。

問題は無いのだが。



予備も十分にあるしな。



